鬼神(きしん)とは - コトバンク

百科事典マイペディアの解説
鬼神【きしん】
（中略）…亡霊を鬼(き)といい，特に横死してまつられない亡霊（幽鬼）は祟(たたり)がある とした。鬼神も祖霊などの半人半神の霊的存在，ことに荒ぶる神霊をいったが，仏教伝来後，その羅刹(らせつ)などの影響で怪異な姿の悪鬼に描かれるようになった。日本の鬼(おに)も中国の鬼神の影響を受けている。なお，西洋のデーモンに鬼神，デモノロジーに鬼神学の訳が与えられることがある。

世界大百科事典 第２版の解説
きしん【鬼神 guǐ shén】
（中略）…死者の霊魂をいう。人間は陽気の霊で精神をつかさどる魂と，陰気の霊で肉体をつかさどる魄（はく）との二つの神霊をもつが，死後，魂は天上に昇って神となり，魄は地上にとどまって鬼となると考えられた。鬼神は超自然的な力を有し生者に禍福をもたらす霊的な存在であり，その顕現の仕方によって善神と悪鬼との両様に分かれ，祭祀と祈祓（きふつ）の対象となる。また，天地造化の霊妙なはたらきそのものをも指すことがある。